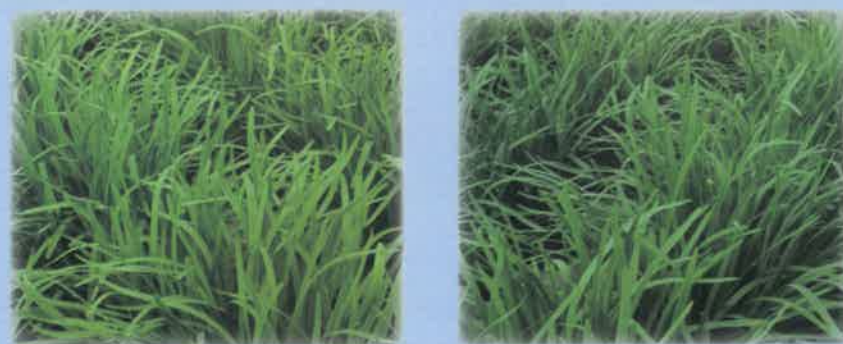


カルタス®の効果事例

ニラ（福島県）

- 区制
①無処理区
②試験区…カルタス300倍と
メリット青300倍を混用
して葉面散布しました。

施用日：11月上旬、11月20日
(計2回)



生産者
様の声

無処理区

試験区

試験区は、葉の色が濃く、葉先が立ち、葉がかたくなりました。

キク（宮城県）

- 区制
①慣行区…アミノメリット青500倍を
葉面散布しました。
②試験区…カルタス1000倍と
アミノメリット青500倍を
混用して葉面散布しました。

施用日：10月下旬、11月上旬（計2回）

	慣行区	試験区
草丈cm	106	106
重量g	61	67

5株平均



生産者
様の声

試験区は、葉のボリューム
が増え、重量が10%アップ
しました。
また、光沢が出て、葉肉が
厚くなりました。

カンキツ（佐賀県）

- 区制
①無処理区
②試験区…カルタス500倍を
葉面散布しました。

施用日：6月1日 7月2日 8月1日
9月3日 10月1日 11月1日
(計6回)

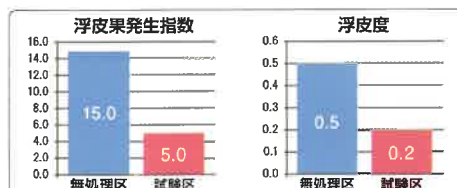


無処理区

試験区

試験場
担当者の声

- ①カルタスの施用で浮き皮が軽減しました。
②試験区は果実が締まっているように感じました。



カルタスの効果事例は
こちらでもご確認
いただけます!!



注意

- 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。
- 本液のpHは約1の酸性液体です。(水で300倍希釈時のpHは約3.0です)
- 目に入らぬよう注意し、もし目に入った場合はすぐに水で十分に洗い流してください。
- 皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流してください。
- メリット（青・黄・赤）と混用の場合は、『メリット：300～500倍、カルタス：300～1000倍』に希釈してご使用ください。
- 高温で日照の強い時など、不適と考えられる条件での散布は、避けてください。早朝もしくは夕刻の涼しい時に散布してください。(特に軟弱野菜は注意)
- 高温で散布後の液剤が乾燥しにくい時や樹勢の弱い樹では、濃度をうすめにするか散布をひかえてください。
- うすめた液はその日のうちに使い切ってください。
- 直射日光を避け涼しい所に保管してください。
- 沈殿物や結晶を生じることがありますので、よく振ってお使いください。
- 詳しい使い方については、JAまたは農業技術指導機関にご相談ください。

カルシウム補給に！
メリット®とまぜて使えるカルシウム剤※

カルシウム葉面散布剤

カルタス®

特殊肥料：熊本県第H22-8号



包装：1kg・10kg

特長

- キレートカルシウムを10% (CaO) 配合しています。
- メリット®と希釈混用して使用できます。

※混用方法については、次ページ「メリットシリーズとの混用方法」をご参照ください。

メリット



メリットは作物の生長にあわせて使い分けができる
当社の葉面散布肥料です
(ボリン酸、微量要素配合)

秋田共栄物産株式会社

☎011-0951 秋田市土崎港相染町字浜ナシ山17-10
TEL. 018-846-1511(代) FAX: 018-846-2112

株式会社 生科研

熊本県阿蘇郡西原村烏子312-4

0120-376-831

【受付時間】平日9:00～17:00

<https://www.n-seikaken.co.jp>



カルシウム（Ca）の働きと欠乏の原因

Caの働き

- ①細胞を強くして作物を丈夫にする。
- ②抵抗力や耐塩性を高め、代謝を正常に保つ。
- ③日持ちを向上させる。

重要な栄養素

Ca欠乏の原因

- ①根傷み（原因：乾燥、過湿、濃度障害）でCa吸収力が低下する。
- ②土壌中の苦土や加里等の拮抗作用により、根からのCa吸収が抑制される。

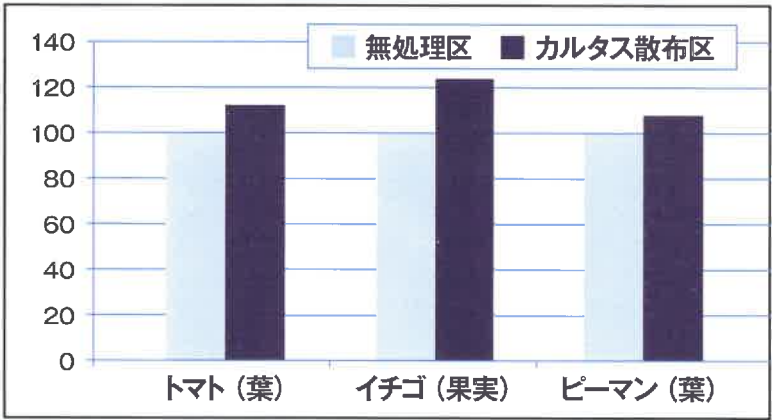
根からの吸収量が不足して、作物への供給が間に合わず欠乏状態になる。

カルタス（散布）の効果

各作物にカルタスを300倍で3回葉面散布しました。

試験地：当社ハウス内

作物のカルシウム含有量がアップしました



※グラフは指数で示しました。

カルタスは **メリット**® と希釈混用できます。（原液どうしの混用は不可）



他社のカルシウム剤と**メリット**®の希釈混用は白濁沈殿します



カルタスと**メリット**®の希釈混用は白濁沈殿しません

「カルタス」によるカルシウム補給と「メリット」による生育コントロールが同時にできるため作業の省力化を図ることができます。

《メリットシリーズとの混用方法》

- ◆下記所定の倍率でご使用ください。
 - ・メリット（青・黄・赤）：300～500倍 カルタス：300～1000倍
 - ※メリットM：800～1000倍 アミノメリットシリーズ：500～800倍
- ◆上記以外の使用方法については、弊社営業担当者または弊社お客様相談窓口(0120-376-831)にご相談ください。

カルシウム補給のポイント

300～1000倍程度にうすめて茎葉に散布してください。
※樹勢の弱い園または作物では、1000倍にうすめて散布してください。

カルタス®はいろいろな作物のカルシウム補給にご使用いただけます

欠乏症状が発生する前に、予防として補給してください。

作物	カルシウム欠乏による症状	効果的なカルシウム補給のポイント		
		時期	散布回数	散布間隔
トマト	尻腐れ果 ・ 葉先枯れ	各段開花期	随時	7～10日おき
イチゴ	果実軟化 ・ チップバーン	育苗期		
		収穫中～収穫後半		
キュウリ	成り疲れ ・ 芯止まり ・ 落下傘葉	収穫開始～収穫中		
ナス、ピーマン パプリカ	尻腐れ果	育苗期		
		生育期間中		
メロン	発酵果 ・ 日持ち低下	肥大初期、ネット発生期	4回	10日おき
スイカ	葉縁枯れ ・ うるみ果	着果後～肥大期	3回以上	5～7日おき
アスパラガス	茎割れ ・ 曲がり ・ 日持ち低下	夏芽収穫	3回	7～10日おき
ニラ、ネギ	新葉の生育不良 ・ 葉先枯れ	生育期間中	随時	
タマネギ	葉先枯れ ・ 日持ち低下			
葉菜類 結球類	芯腐れ ・ 縁腐れ ・ 日持ち低下 ※ハクサイ、コマツナ、チンゲンサイへの混用方法 メリットは800倍にうすめてお使いください。	育苗期	3回以上	5～7日おき
		結球開始時	4回	10日おき
		収穫期	3回	5～7日おき
サツマイモ	貯蔵性低下	塊根形成期		
		塊根肥大期		
柑橘類	浮皮 ・ コハン症	果実肥大期	3回以上	
		収穫の30日前～	3回	
ナシ	蜜症 ・ ユズ肌 ・ 日持ち低下	落花後～幼果期	3回以上	
		収穫30日前～	3回	
モモ	日持ち低下	落花後～幼果期	3回以上	7～10日おき
		収穫30日前～	3回	
リンゴ	ビターピット ・ 日持ち低下	開花期～幼果期	3～5回	
		果実肥大期	3回	
		収穫1ヶ月前～		
ブドウ	日持ち低下 ※袋がけをしない場合は果実に かからないように棚上から散布してください	果実肥大期	3回以上	5～7日おき
		着色開始～	3回	
オウトウ	裂果 ・ 日持ち低下	生育初期～	2回以上	
エダマメ、ダイズ	黄化症	肥大期		
スナップエンドウ、 インゲンマメ、ソラマメ	黄化症 ・ しみ症	着果後～収穫まで	随時	
花卉	茎の軟化 ・ 葉先枯れ 葉質低下 ・ 日持ち低下	生育期間中	3回以上	出荷前
		花芽形成期～花蕾生育期		
			出荷前	1回以上